

学校だより

明るく 元気に たくましく



2学期を迎えるに当たり整備された校庭

平成27年9月2日発行

広島市立広島特別支援学校

校長 中尾 秀行

TEL 082-250-7101

E-mail : yougo-s@e.city.hiroshima.jp

FAX 082-250-7102

ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>

□ はじめに

今年も8月20日を迎えました。75人の尊い命が奪われ、179軒の住宅が全壊するという大変恐ろしく、大変痛ましい広島土砂災害発生から1年が経過しました。改めて亡くなられた方の御冥福をお祈りするとともに、この大災害を忘れず、災害の悲惨さや自然の恐ろしさ、命の尊さを後世に伝えるべく、子どもたちの教育を行って参りたいと思います。

さて、いよいよ2学期が始まります。2学期は、家族参観日、小学部と中学部の運動会、文化祭等をはじめとして学校内外で多くの行事があり、それらの行事をテーマとした様々な取組も数多く計画しています。児童生徒には一つ一つの活動を楽しみながら、主体的に活動し様々な力を付けていってほしいと願っています。そのために、本校教職員は精一杯努力をしていきます。保護者の皆様には、今後とも本校の教育に、御理解と御協力をよろしくお願いします。

□ 夏期研修会

7月22日(水)、保健指導部主催の救難研修会を皮切りに、本校において、夏季休業中に24(その内、校外の教職員等に公開した研修会は10)の研修会を実施し、本校以外の先生方も135名参加されました。研修会の講師は、大学や関係機関等の専門家の方々や本校の教員が行いました。また、この夏も、本校主催の研修だけでなく、広島市の小学校の特別支援教育に関する研究会が本校で開催されたり、広島市内の小学校、中学校等の校内研修会に多くの本校の教職員を講師として派遣したりしました。本校は広島市の特別支援教育のセンター的な役割を担っていますが、その役割の一旦を果たすことができたのではないかと考えています。

他にも本校から特別支援学校の免許を取得するための認定講習や教育センターを含め専門性を高めるための各教科等の研修講座、研修会等に多くの教職員が意欲的に参加しました。今後、研修の成果を2学期からの児童生徒の指導に生かしていきたいと考えています。



↑ タブレット研修



↑ 「障害者の雇用について」



↑ 教材・教具作成研修

不審者対応研修 →



「進路指導について」 →



□ 教材・教具展示会

本校教職員が作成した教材・教具展示会を7月23日(木)から8月7日(金)まで、本校で実施しました。この展示会は本校の教職員間の実践の交流だけでなく、本校で開催された研修会に来校された他校の多くの先生にも見ていただきました。この教材・教具展示会も教材・教具のアイデアや使い方等を他校の先生方に提供することで、本市の特別支援教育の質的な向上に貢献しているのではないかと考えています。この教材・教具展示会は、11月13日(金)に本校で開催する第54回全国学校体育研究大会広島大会(第12分科会)でも展示します。今後も教職員間でアイデア等を共有しながら具体的な支援ツールを活用し、児童生徒が「やってみたい、やってみよう、もっとやりたい」と思えるような授業づくりに生かしていきたいと思っています。



研修会後に展示を見学する小学校の先生方

□ 学校保健委員会

7月23日(木)学校保健委員会を実施しました。松田文雄学校医をはじめ、5名の学校医、学校歯科医、学校薬剤師とPTA会長、副会長に出席いただき、本校の学校保健計画、学校安全計画、児童生徒の健康状態等について、説明を行いました。今回も児童生徒の健康状態を把握し分析を行い、対応を考えた上で、それぞれの専門の先生方から指導・助言をいただきました。佐久間先生からは、丁寧な視力検査を行っていることを評価していただきました。太田先生からは、耳を触られることを嫌がる子どもに対しては、家庭で無理して耳垢を取ろうとせず、耳鼻科を受診するとよいことも教えていただきました。また、松田先生からは、母・父からの温かい言葉掛けが子どもの心を育てるというお話も伺いました。今後も児童生徒の健康状態をよりよいものにしていきたいと考えています。



学校保健委員会の様子

□ 生活支援相談会

7月23日(木)生活上の困りごと、福祉サービスの活用方法についての情報提供等を行うことをねらいに、生活支援相談会を実施しました。34件の相談依頼があり、好評をいただいております。御協力いただきました光清学園、障害者生活支援センターめーぶる、瀬野川学園、おりづる作業所、森の工房、広島市子ども療育センターの職員の皆様には深く感謝申し上げます。今後とも、保護者の皆様には小学部の段階から、この生活支援相談会をより一層活用していただきたいと願っています。

□ 教育相談会

前期8月3日(月)から8月11日(月)、後期8月17日(月)から21日(金)の間で教育相談会を行いました。この取組は、本校の就学区域内の小・中・高等学校を対象としたもので、特別な教育的ニーズのある児童生徒への有効な支援につなげるために本校教員が相談支援者となって毎年実施しているものです。今年度の相談件数は、13件で、来談者の学級種別は、通常の学級6件、自閉症・情緒障害特別支援学級4件、知的障害特別支援学級3件でした。相談については、対象とする児童生徒の基本的な理解と具体的な指導についてが主たる内容でした。相談に来られた先生方からは、「役に立っている」との評価をいただいています。

また、日頃のサポートセンターでの教育相談主任を中心とした相談や、学校へ出向いての相談も多数行っております。今後とも、本校のセンター的機能をより一層発揮できるよう努めてまいります。

□ 芸術教室



制作に取り組む生徒



みんなで描いた「ゲルニカ」

広島市主催の被爆70周年記念事業・芸術教室が、8月26日(水)、27日(木)に本校で開催され、高等部の生徒が参加しました。

これは、芸術活動にかかわりをもつ障害者の裾野を広げることを目的として開催されました。今回は平和への願いを込めて「ゲルニカ」をみんなで制作しました。東京で活動する画家に来ていただき、今まで知らなかった道具の使い方や画法を教えてくださいました。

生徒は伸び伸びとキャンパスに向かい、パワー全開で素晴らしい絵を描くことができました。出来上がった作品を見る生徒の顔はきらきら輝いていました。

今後も、様々な機会を捉え、生きる力を育む教育を実践し、児童生徒が積極的に学んでいけるよう支援していきたいと考えています。

御来校いただいた方々(教育相談での見学、本校主催の研修会に参加された方は除いています。)

月 日	団 体 名 等	人 数
7月23日(木)	広島市学校事務職員初任者 様	12名
7月27日(月)	TOTO株式会社 様	2名
7月28日(火)	広島市財務局財政課長 様他	3名
7月30日(木)	広島市小学校教育研究会(教科外)特別支援教育部会 様	112名
8月11日(火)	静岡県立清水特別支援学校 鈴木様	1名
8月24日(月)	平成27年度学習指導要領の着実な実施に向けた協議会(校長対象) 様	149名
8月24日(月)	広島弁護士会子どもの権利委員会 定者様、藤本様、見之越様	3名
8月26日(水)	広島市議会議員 様	6名
8月26日(水)	神戸市住宅都市局建築技術部技術管理課 様	7名
8月31日(月)	広島大学教育学部家庭科専攻 様	8名